

公共施設のあり方を考える ～次世代に負担を先送りしないために～

全地域版 市民懇談会

(注) 各地域会場では5頁「(参考)〇〇地域児童数」の状況を、それぞれ地域ごとに変更して配布していましたが、本資料では、全地域の資料をまとめて編綴しています。

2019年10月

豊岡市 公共施設マネジメント推進室
スポーツ振興課
こども育成課



1. 公共施設マネジメント推進の背景

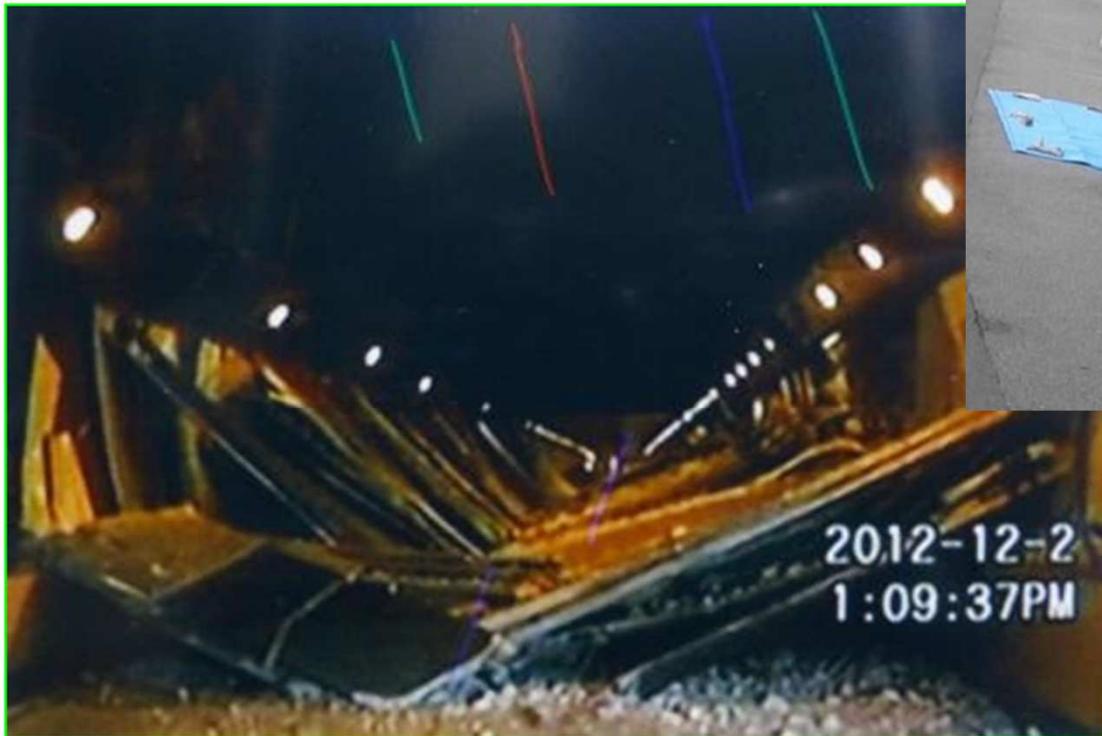
- ・全国の自治体で公共施設の老朽化が大きな問題
➡H24（2012）.12 中央自動車道 笹子トンネル天井板落下事故
- ・本市でも公共施設（庁舎、学校、コミュニティセンター、図書館、ホールなどの建築物）の多くが既に老朽化し、今後、一斉に改修や建替えの時期が到来
- ・平成17（2005）年の市町合併に伴い、旧市町時代に整備された用途や目的が重複している施設を、そのまま引き継いだ



公共施設マネジメントとは

公共施設の建替えなどに伴う**多額の財政負担を軽減**させ、**施設サービスの水準を適切に維持**していくため、計画的維持修繕による**長寿命化**や**施設保有量の最適化（総量縮減）**に取り組むこと

インフラ・公共施設の 安全性確保が全国的課題！！



笹子トンネルの事故状況：山梨県警報道提供資料



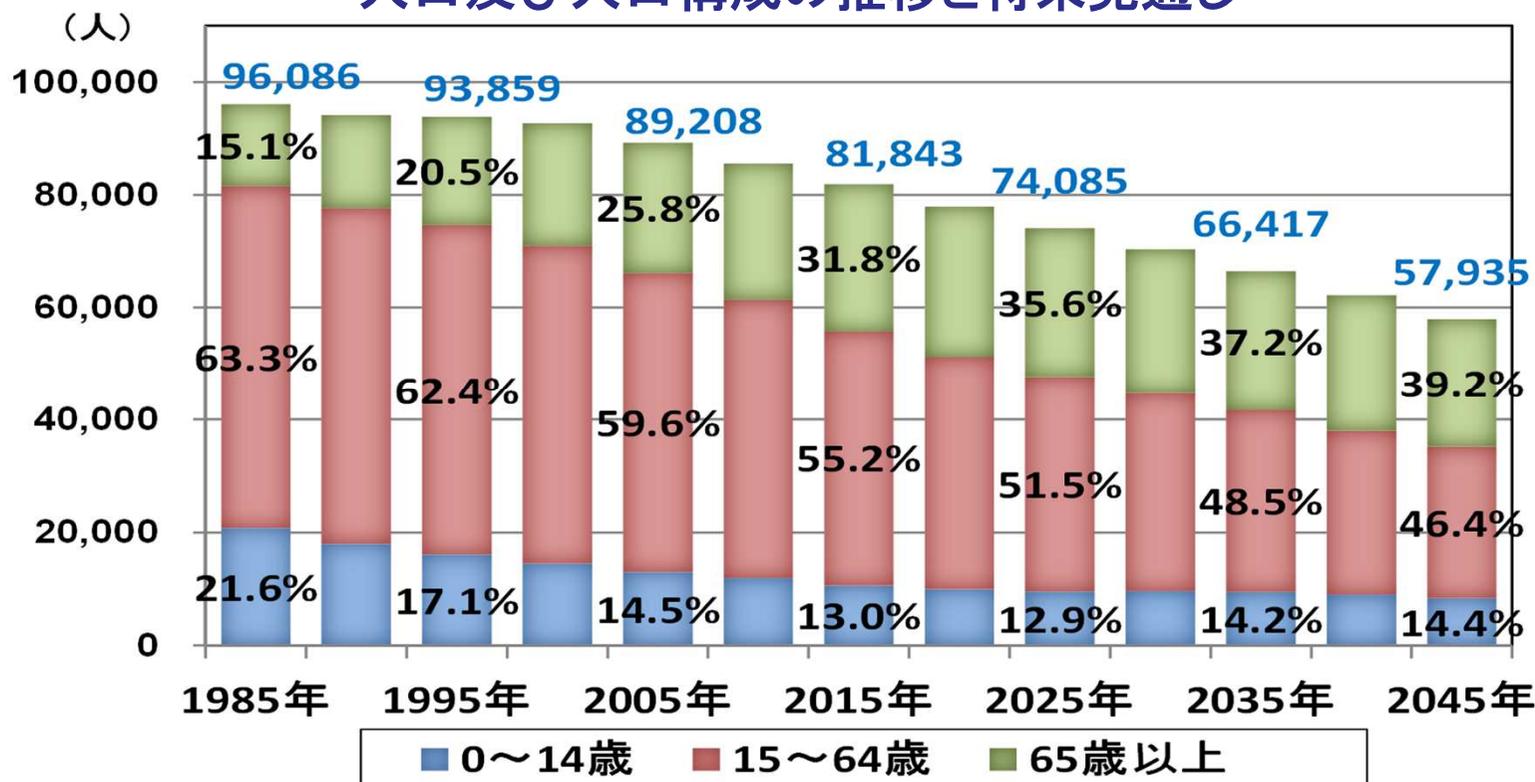
2018年6月 大阪北部地震で倒壊したブロック塀

2. 豊岡市の公共施設の現状と課題

(1) 減少する人口と財政状況

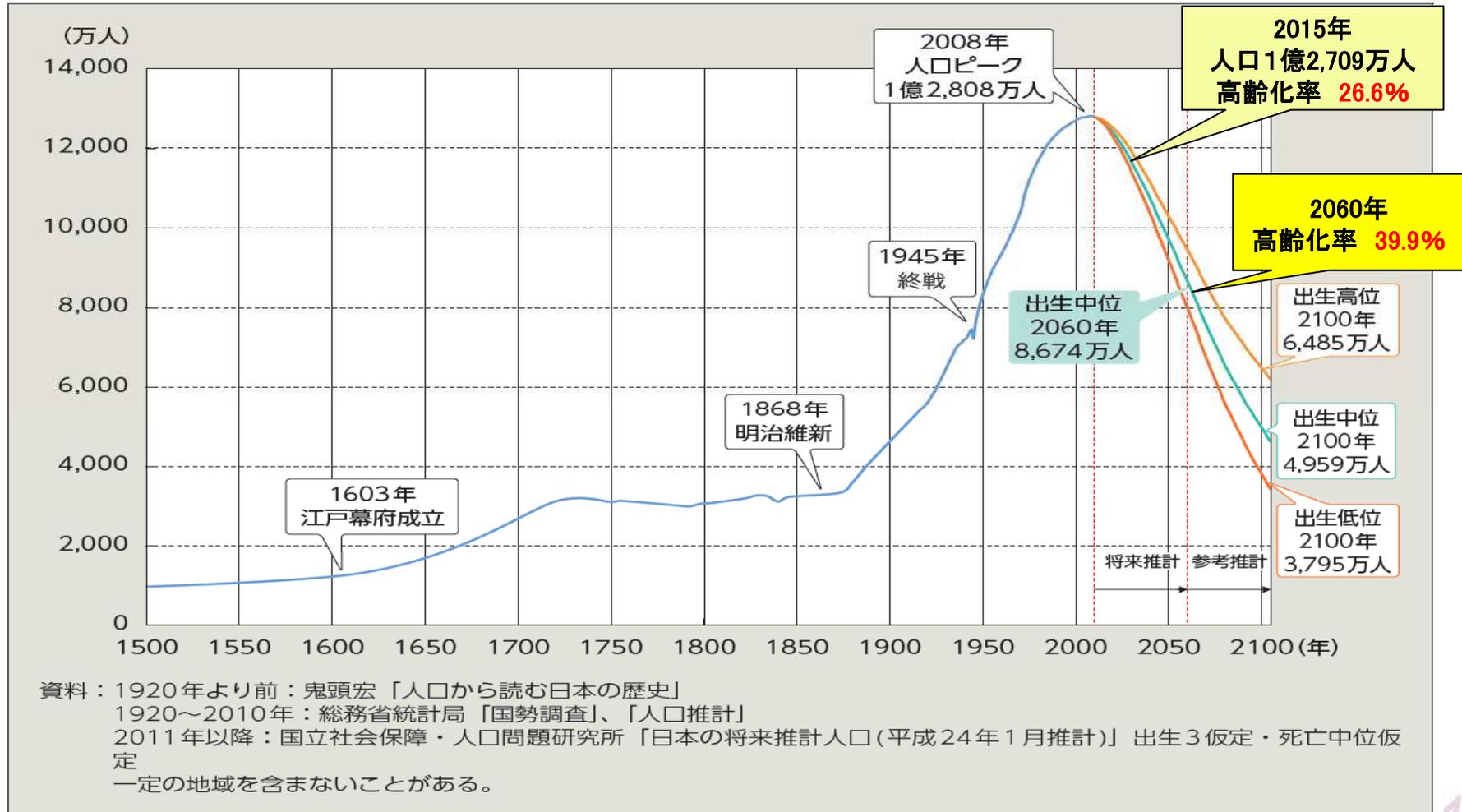
- ①働き盛り世代の減少による税収の減少
 - ②市町合併で優遇されてきた普通交付税が縮減
- ⇒建替えなどに対する財源が一層不足

人口及び人口構成の推移と将来見通し



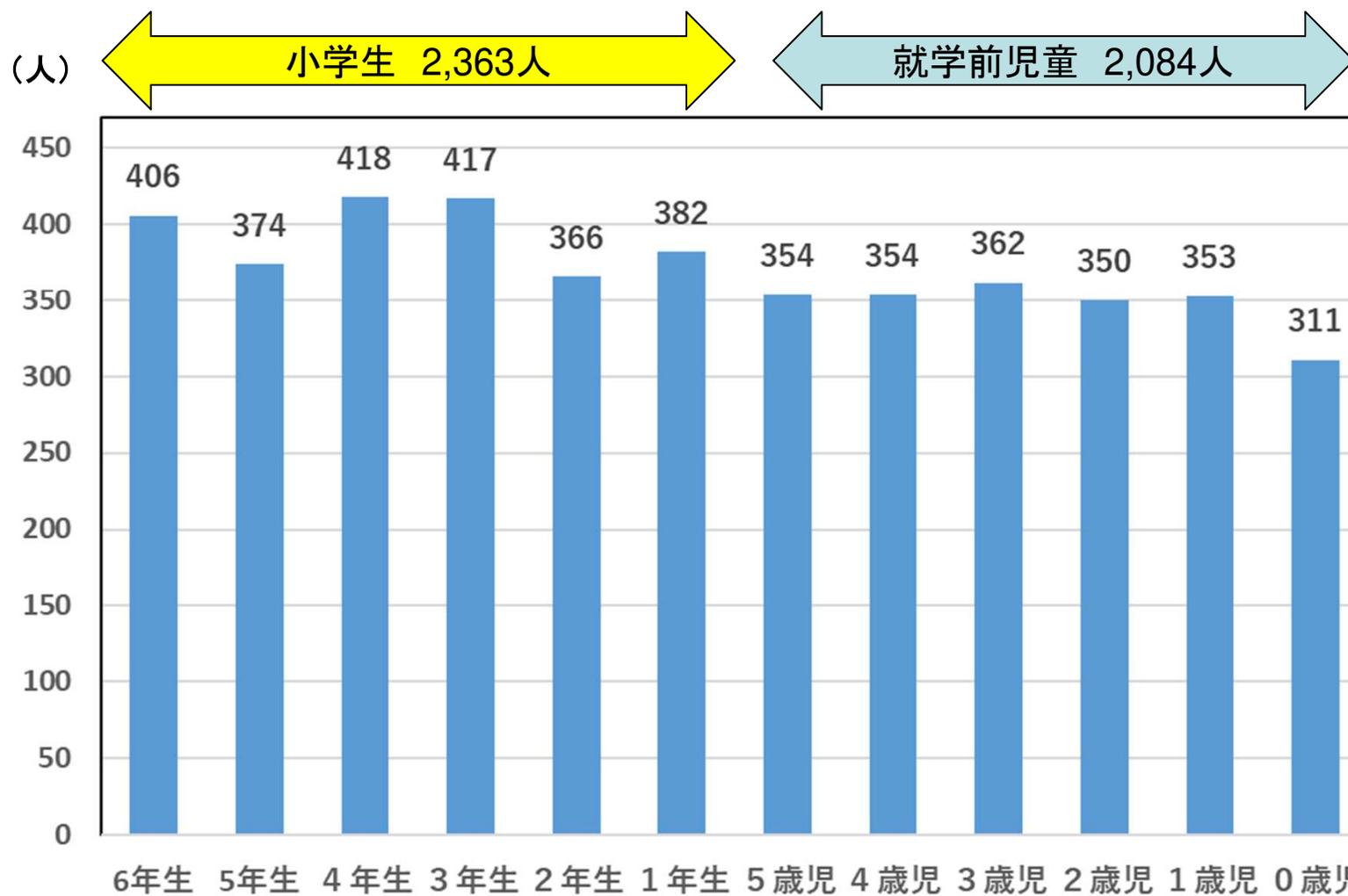
(2) 人口減少社会に突入

○ 我が国の総人口は、2008年をピークに、今後100年間で100年前（明治時代後半）の水準に戻っていく。この変化は、千年単位でみても類を見ない、極めて急激な減少。



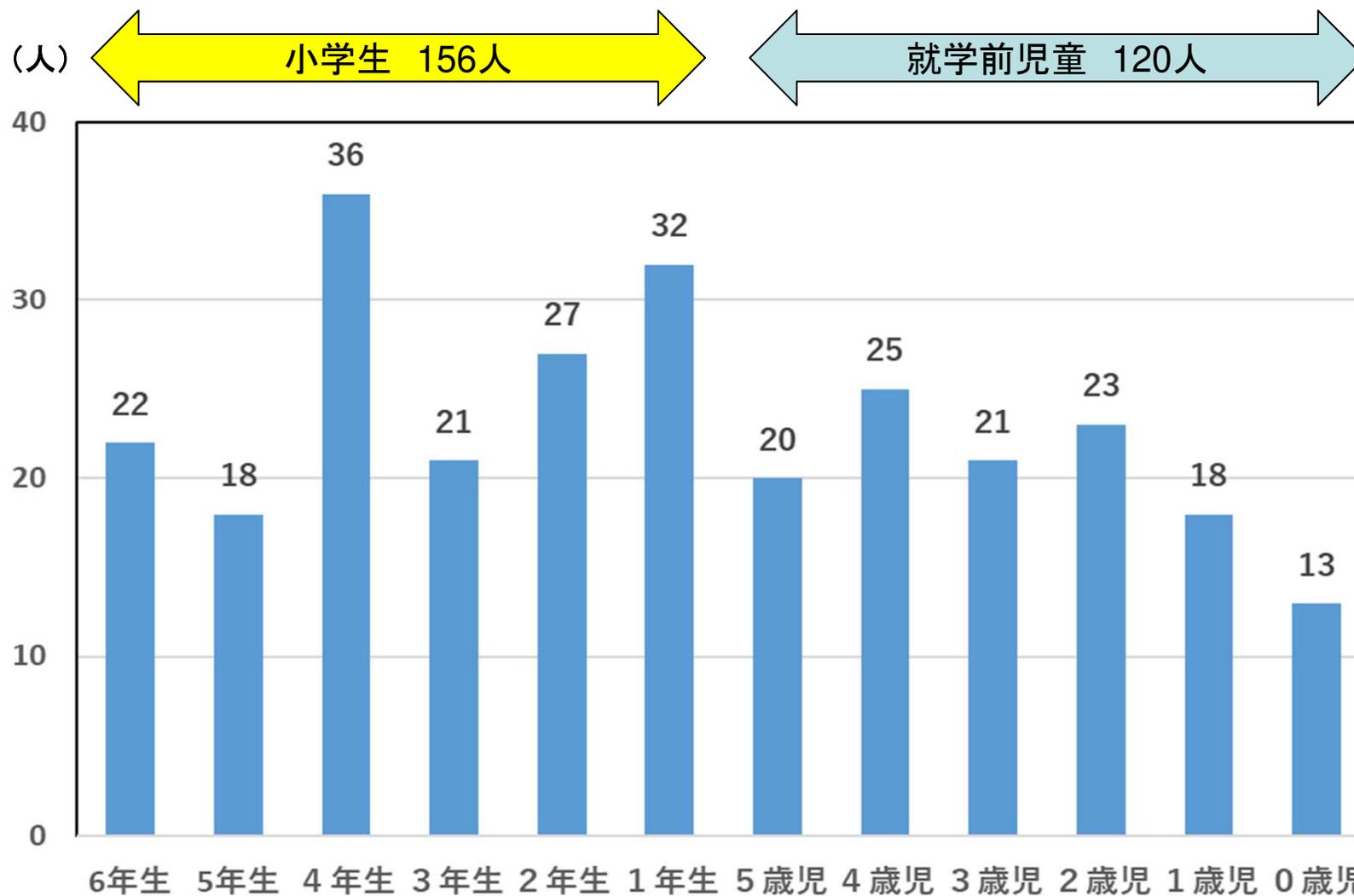
(注) 日高・但東・竹野地域懇談会の際は、2004年を人口ピークとする資料を配布しましたが、ご指摘をいただき、その後の会場では人口ピークを2008年とする本資料に変更しています。

(参考) 豊岡地域 児童数の状況 (2019年4月時点)

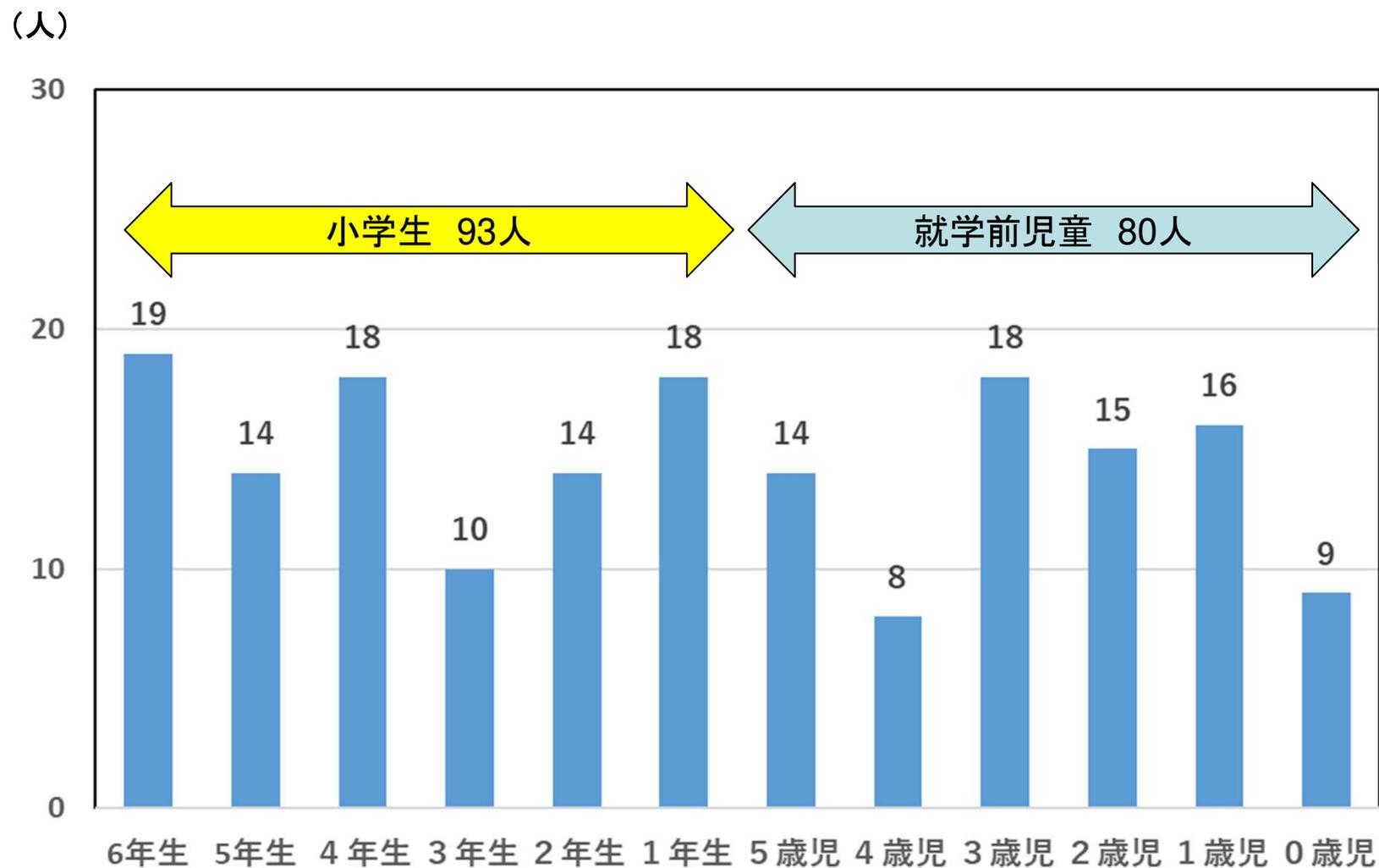


(注) 会場配布資料と異なり、各地域の児童数の状況を連続して編綴しています。

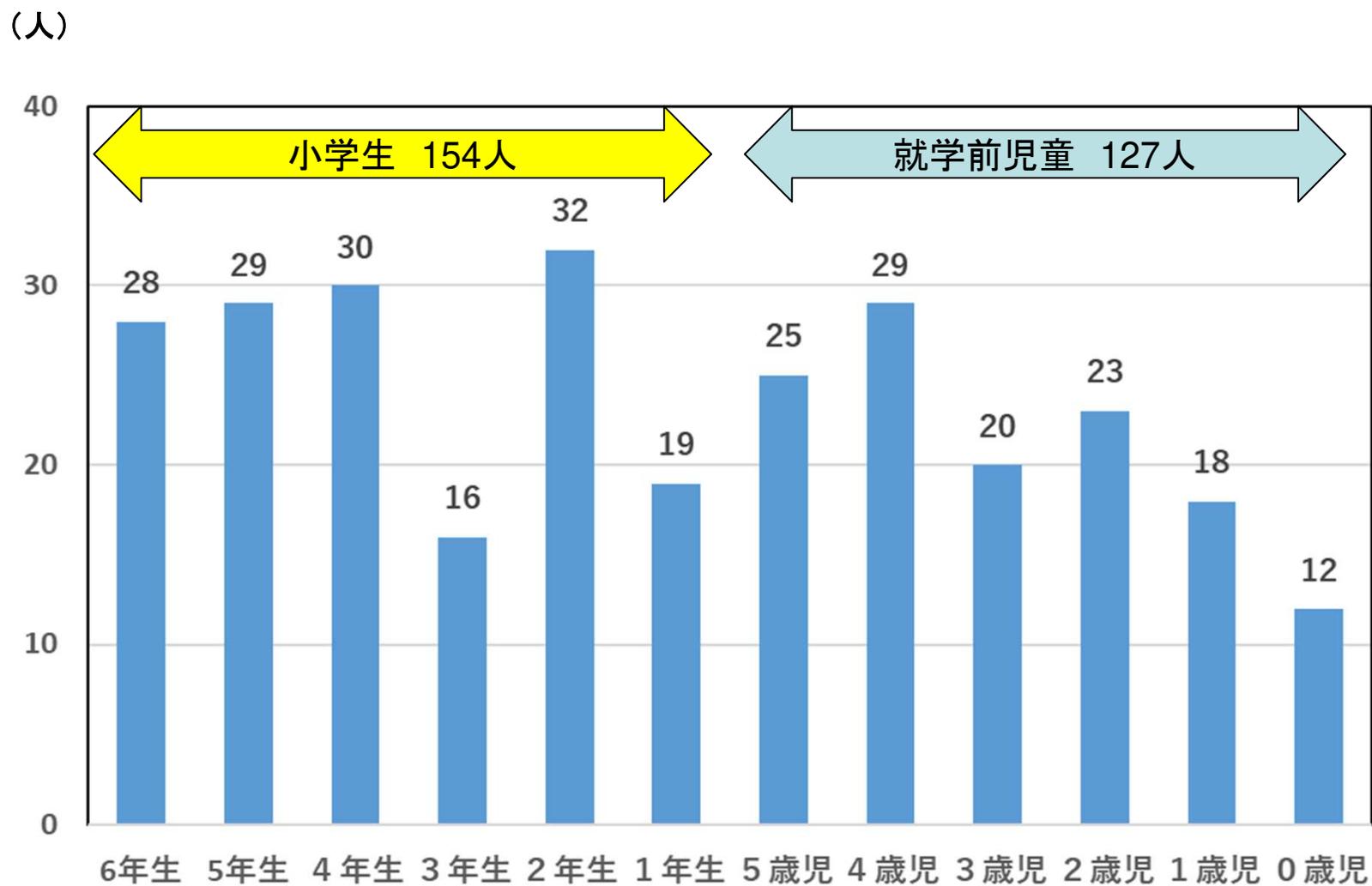
(参考1) 城崎地域 児童数の状況 (2019年4月時点)



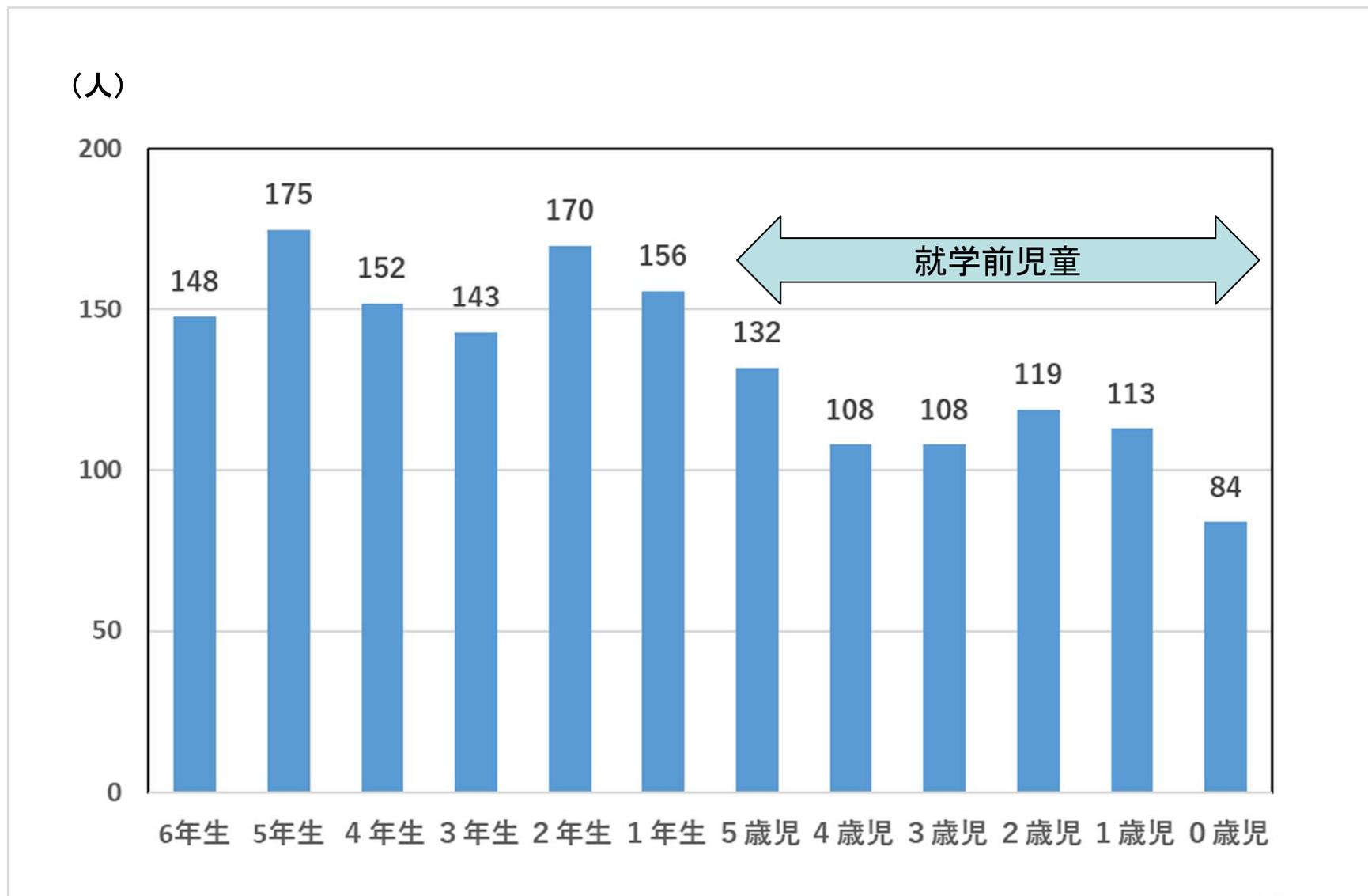
(参考2) 港地域 児童数の状況 (2019年4月時点)



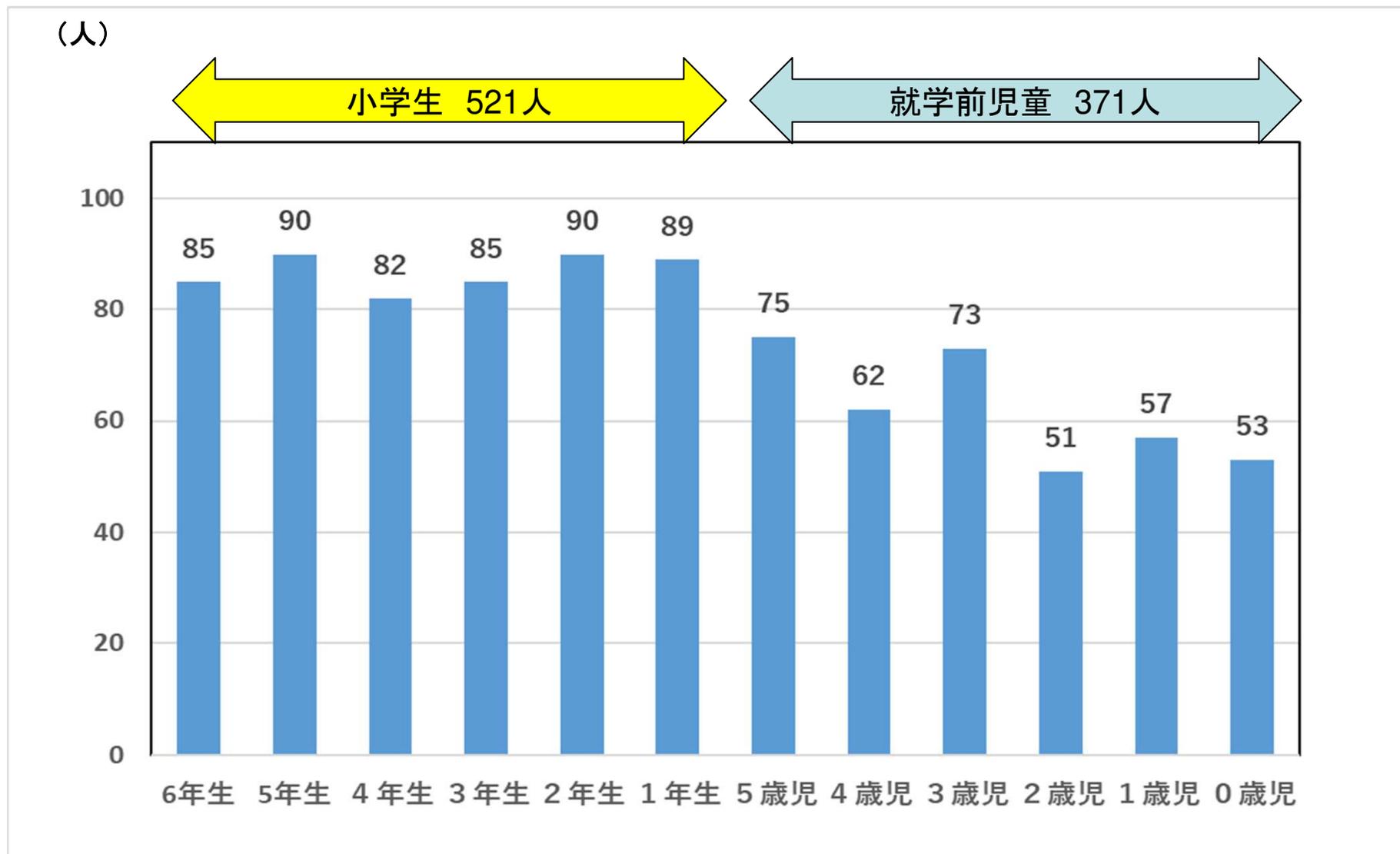
(参考) 竹野地域 児童数の状況 (2019年4月時点)



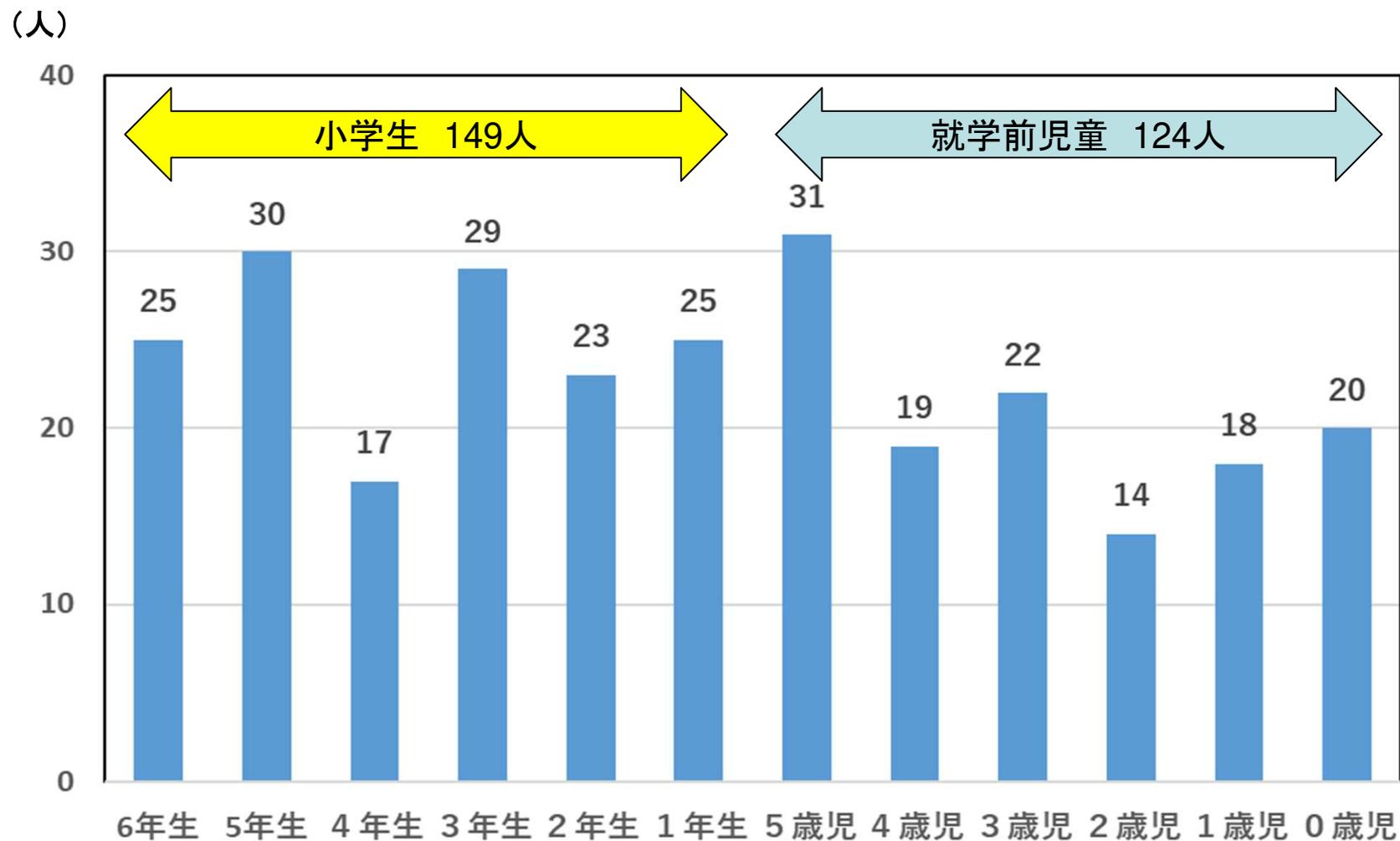
(参考) 日高地域 児童数の状況 (2019年4月時点)



(参考) 出石地域 児童数の状況 (2019年4月時点)

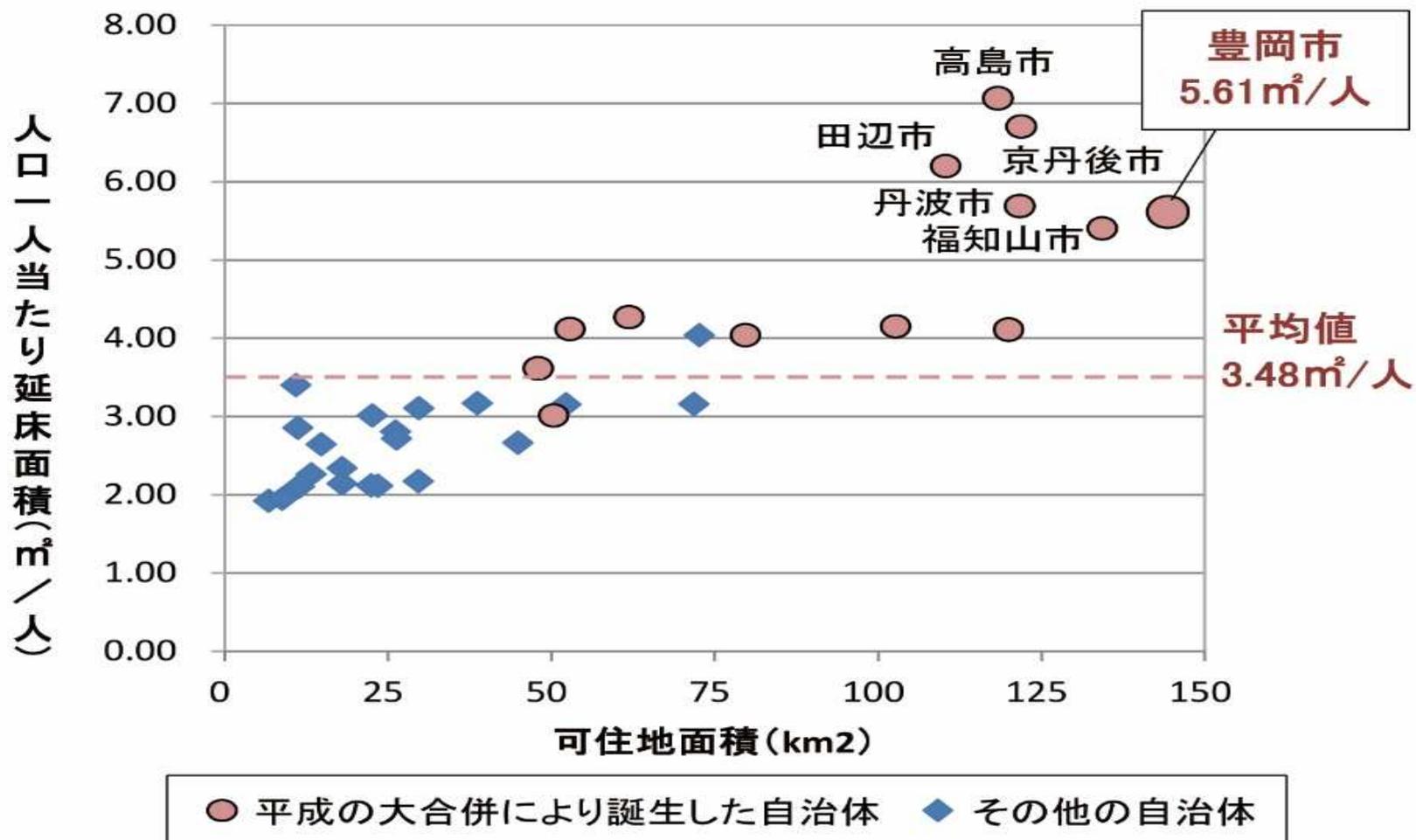


(参考) 但東地域 児童数の状況 (2019年4月時点)



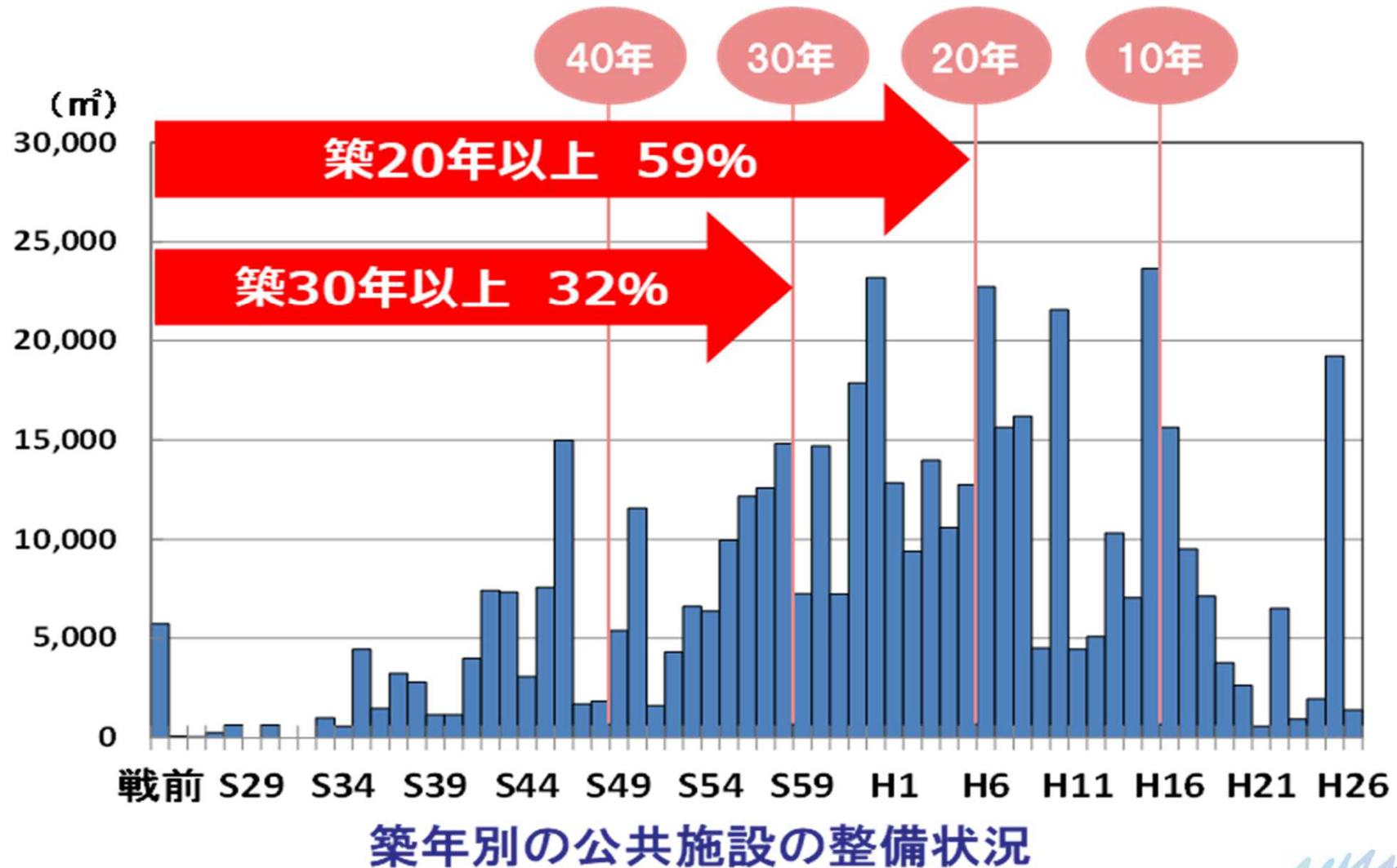
(3) 保有量が多く老朽化する施設

- ・574施設、総延床面積48.7万 m^2 （市民一人当たり5.6 m^2 ）を保有。
その規模は類似都市平均の1.6倍（H26.4.1現在）

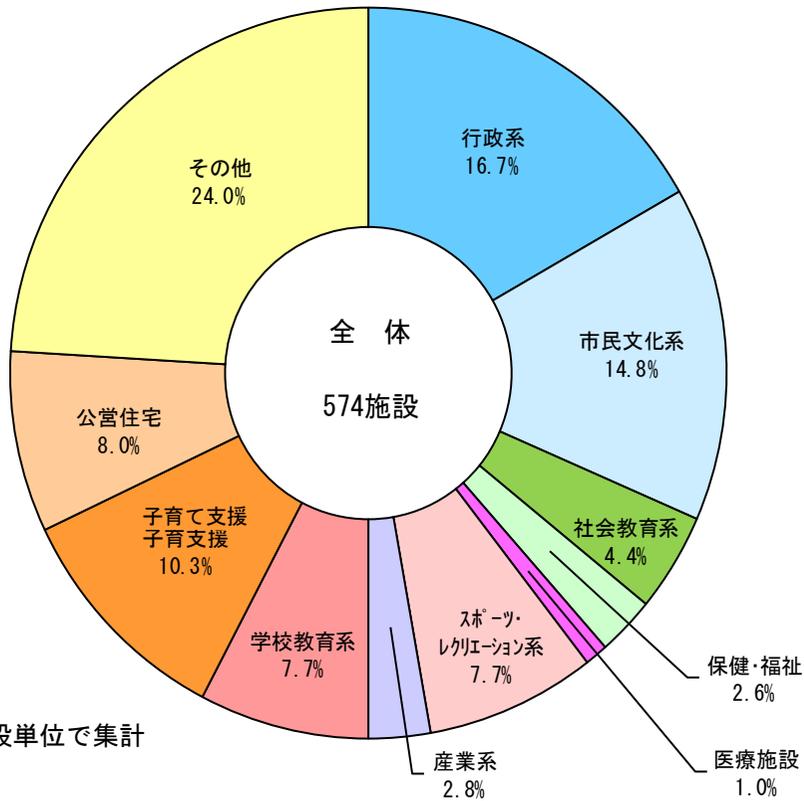


人口一人当たり延床面積の類似団体との比較

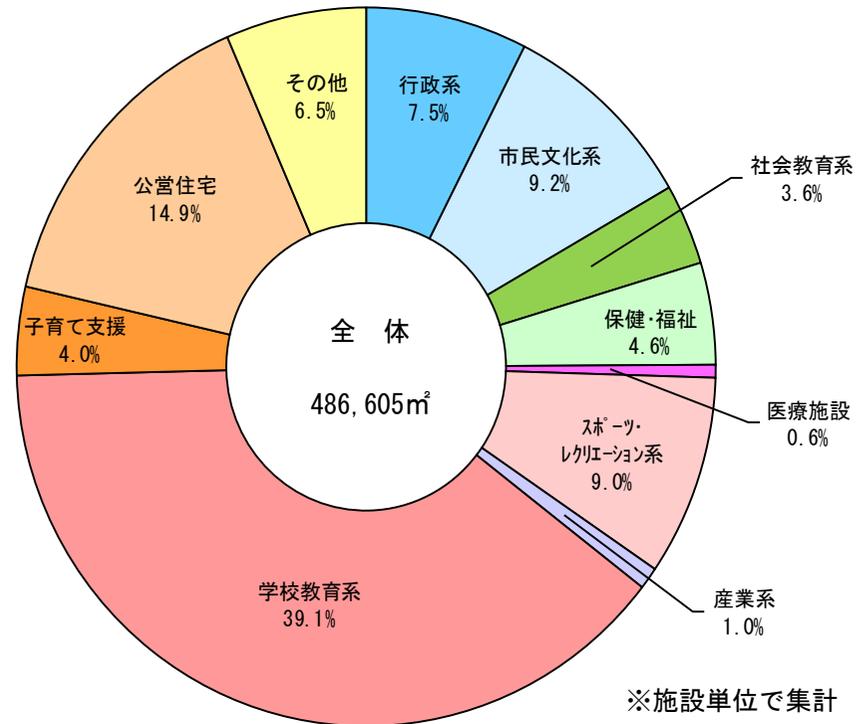
- ・10年後には築30年を経過する施設が半数以上にのぼるなど、今後、多くの施設で改修や建替えの時期が到来



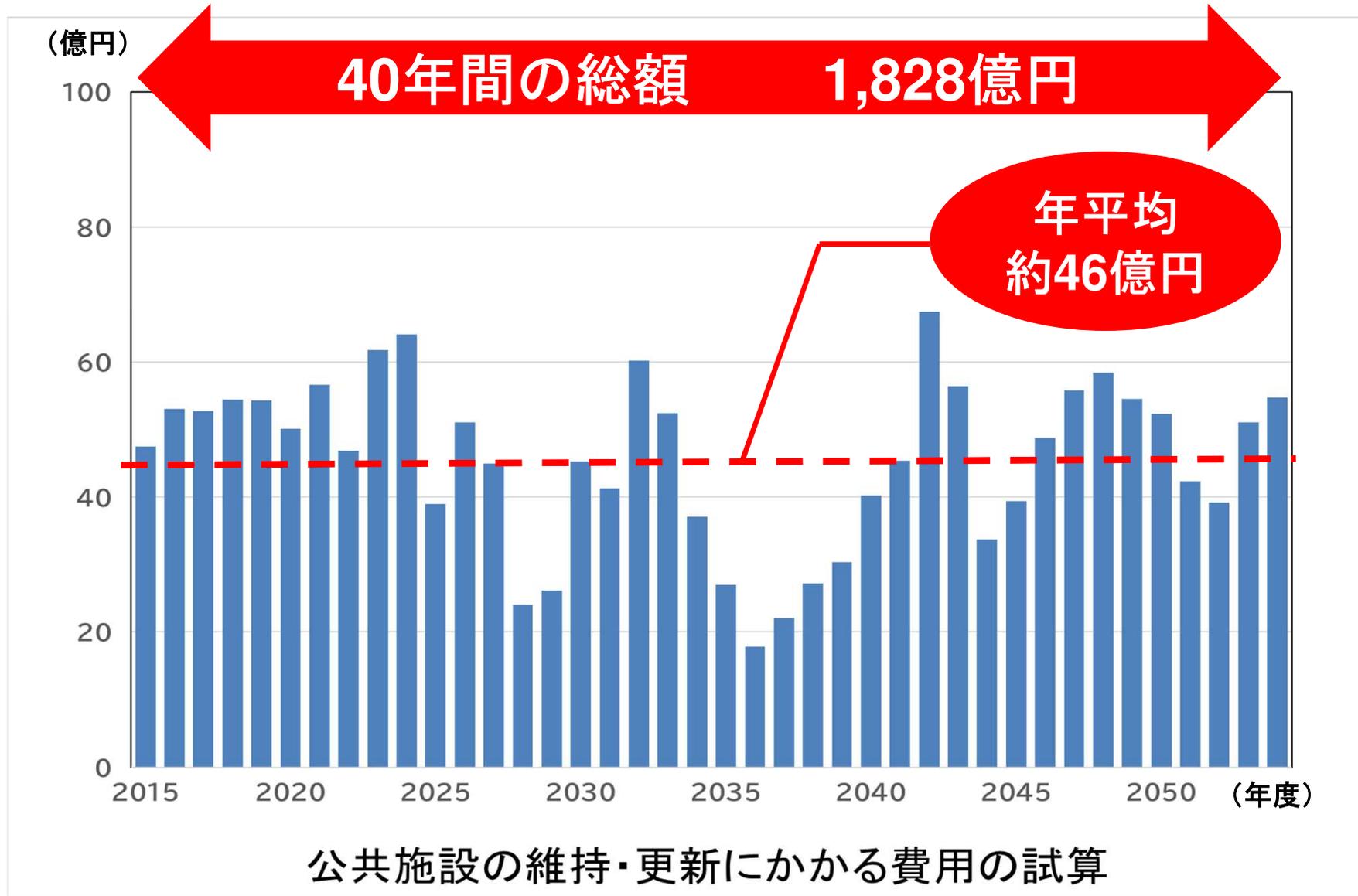
施設分類別の施設数構成比



施設分類別の延床面積構成比



・現在の施設をそのまま維持・更新する費用を試算すると、今後40年間で総額1,828億円、年平均で約46億円が必要



主要施設の今後10年間の更新 費用の試算 (豊岡市民会館を除く)

豊岡小学校、八条小学校、五荘小学校、中筋小学校、豊岡南中学校、消防本部・豊岡消防署、豊岡健康福祉センター、総合体育館、栄町住宅、塩津住宅、城崎小学校、城崎中学校、城崎国際アートセンター、竹野小学校、竹野中学校、府中小学校、日高小学校、三方小学校、清滝小学校、日高東中学校、日高庁舎、日高地区コミュニティセンター、弘道小学校、出石中学校、合橋小学校、但東庁舎

注)総務省試算ソフトに基づく試算値であり、各施設の存否や事業実施を示すものではありません。

計27施設 約196億円

その他施設 計192施設 約121億円

合計 219施設 約317億円

3. 施設保有量の数値目標

- ・施設の更新に必要な**約46億円/年**に対して、充当できる経費は**21.2億円/年**（長期財政見通し（2016年5月公表）から試算）
- ・不足額解消のためには、長寿命化（施設を有効活用して長く使用）とあわせて、40年間で公共施設の延床面積を**34%削減**することが必要。

今後の方針	条件	1年当たりの更新費用	40年間の更新費用の総額
長寿命化＋延床面積削減	<ul style="list-style-type: none">・建替え80年・大規模改修40年・延床面積34%削減	21.2億円	849億円

4. 本市のこれまでの取組み

(1) 多機能化（複合化）

・各庁舎では、旧町時代の空きスペース（議場など）を地区コミュニティセンターや 図書館分館、子育てセンター等として有効利用

区 分	複合施設
城崎庁舎	地区コミュニティセンター、子育てセンター、図書館分館
竹野庁舎	地区コミュニティセンター、図書館分館
日高庁舎	子育てセンター、図書館分館、 (商工会)
出石庁舎	地区コミュニティセンター、子育てセンター、図書館分館
但東庁舎	地区コミュニティセンター、子育てセンター、図書館分館、消防本部駐在所、歯科診療所、 (商工会、観光協会)

(2) 個別施設計画の策定

・個別施設の具体的な対応方針を定めるもの

策定済み・策定中のもの

- ア 公園施設長寿命化計画・・・2014年3月策定
- イ 橋梁長寿命化修繕計画・・・2017年8月策定
- ウ 公営住宅等長寿命化計画・・・2019年3月策定
- エ コミュニティセンター・・・2019年3月策定 【本日説明】
- オ 体育施設等・・・2019年7月（案）策定【本日説明】
- カ 学校施設・・・2020年3月策定予定

類似計画

- ア 幼児教育・保育及び放課後児童のあり方計画・・・2019年9月答申
【本日説明】

5. 配置・機能を維持する施設の方向性

(1) 庁舎・消防施設

- ・豊岡市役所、豊岡市役所立野庁舎、振興局庁舎、常備消防である消防施設（各地域の消防署・分署など）は、現在の配置・機能を維持
- ただし、日高分署、城崎分署竹野出張所については、庁舎との複合化などを検討

(2) コミュニティセンター

- ・地域コミュニティ組織による住民自治の活動拠点としていくため、現在の配置・機能を維持

(3) 図書館

- ・市民の生涯学習の場を提供していくため、現在の配置・機能を維持
- ・良好な図書館サービスを提供するため、業務の一部又は全部委託などを含めた様々な方法を検討

(4) 医療施設

- ・無医地区における診療所は、現在の配置・機能を維持

(5) 中学校、小学校

- ・「豊岡市学校施設整備計画」に基づき、将来の児童生徒数を踏まえた適切な手法により、効率的・効果的な老朽化対策を実施
- ・長寿命化改修などを実施する際は、近隣の他の施設との複合化を検討
- ・より良い教育環境を確保していくため、保護者や地域住民との協議を推進

(6) 放課後児童クラブ

- ・すべての小学校区で放課後児童クラブを確保（ただし、単独施設については、他の施設との複合化を検討）
- ・一定の利用が安定して見込まれる施設については、民間委託を検討

6. 推進上の留意事項

- (1) 継続施設については、より**効率的・効果的な管理運営**を原則とする。
- (2) 新設は、止むを得ないもの、真に必要なものののみとし、新設・再編に際し、活用上の**適正配置・地域性に配慮**する。
- (3) 「豊岡市地方創生総合戦略(平成27年10月策定)」に定めた人口減少対策や、住民の参画による地域の活性化に資する施設にあっては、**機能の強化や充実を図る**よう検討する。

7. 豊岡市コミュニティセンター個別施設計画

1 計画策定の目的

コミュニティセンターは、現時点では、**将来にわたりその機能を維持する**方針とし、計画的な保全を行う。

2 計画期間

2018年度～2055年度

3 対象施設

コミュニティセンター 25施設

（振興局の庁舎内に設置しているコミュニティセンター（城崎、竹野、弘道、合橋）を除く）

4 長寿命化の基本方針

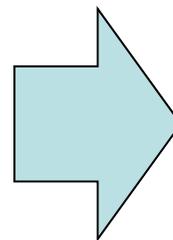
(1) 長寿命化の考え方

修繕を一定周期ごとに計画的に実施する「予防保全」により長寿命化を図る。

(2) 目標耐用年数

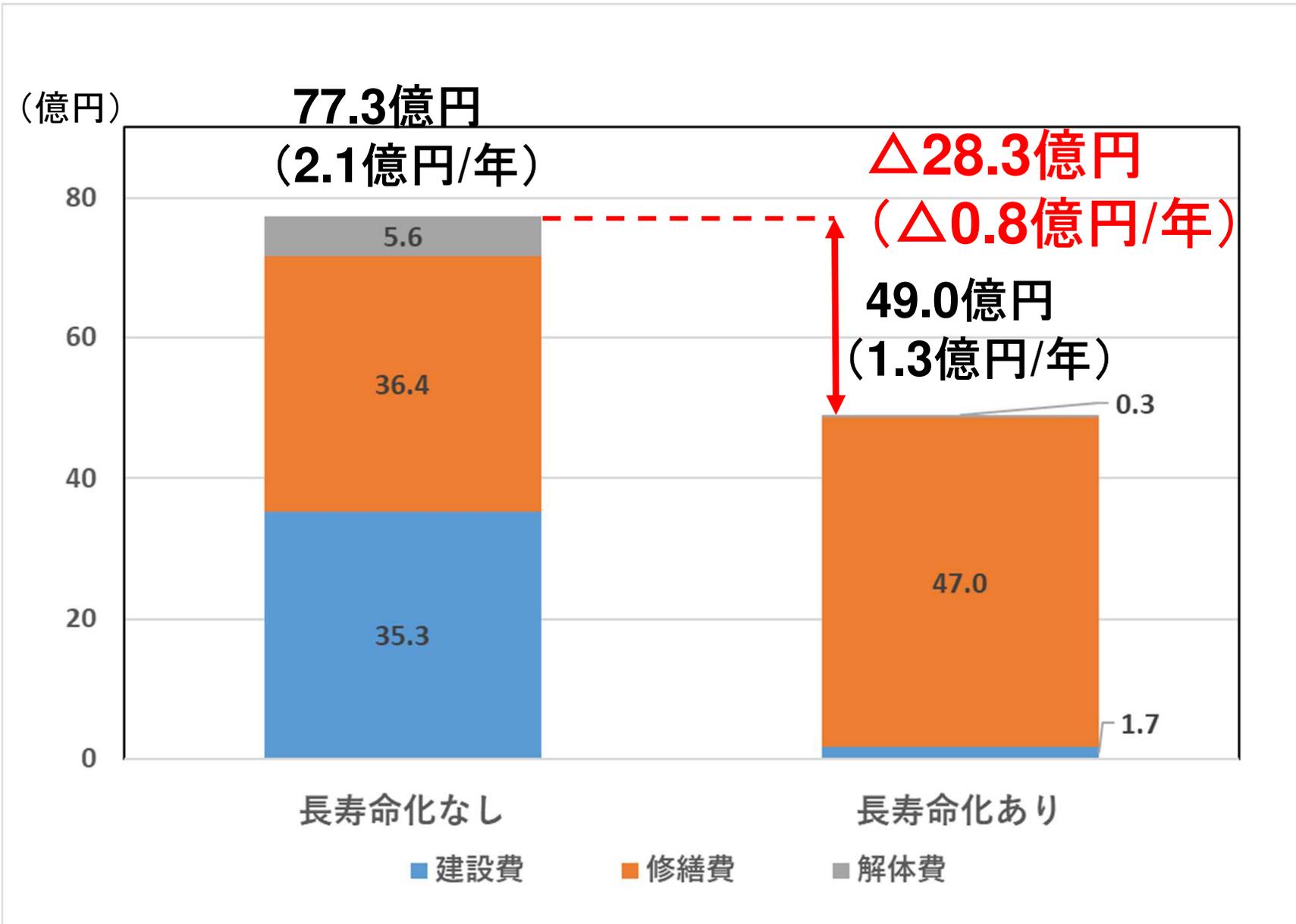
構造	耐用年数
鉄筋コンクリート造 (RC造)	60年
鉄骨鉄筋コンクリート造 (SRC造)	
鉄骨造重量 (S造)	60年
木造 (W造)	40年

長寿命化

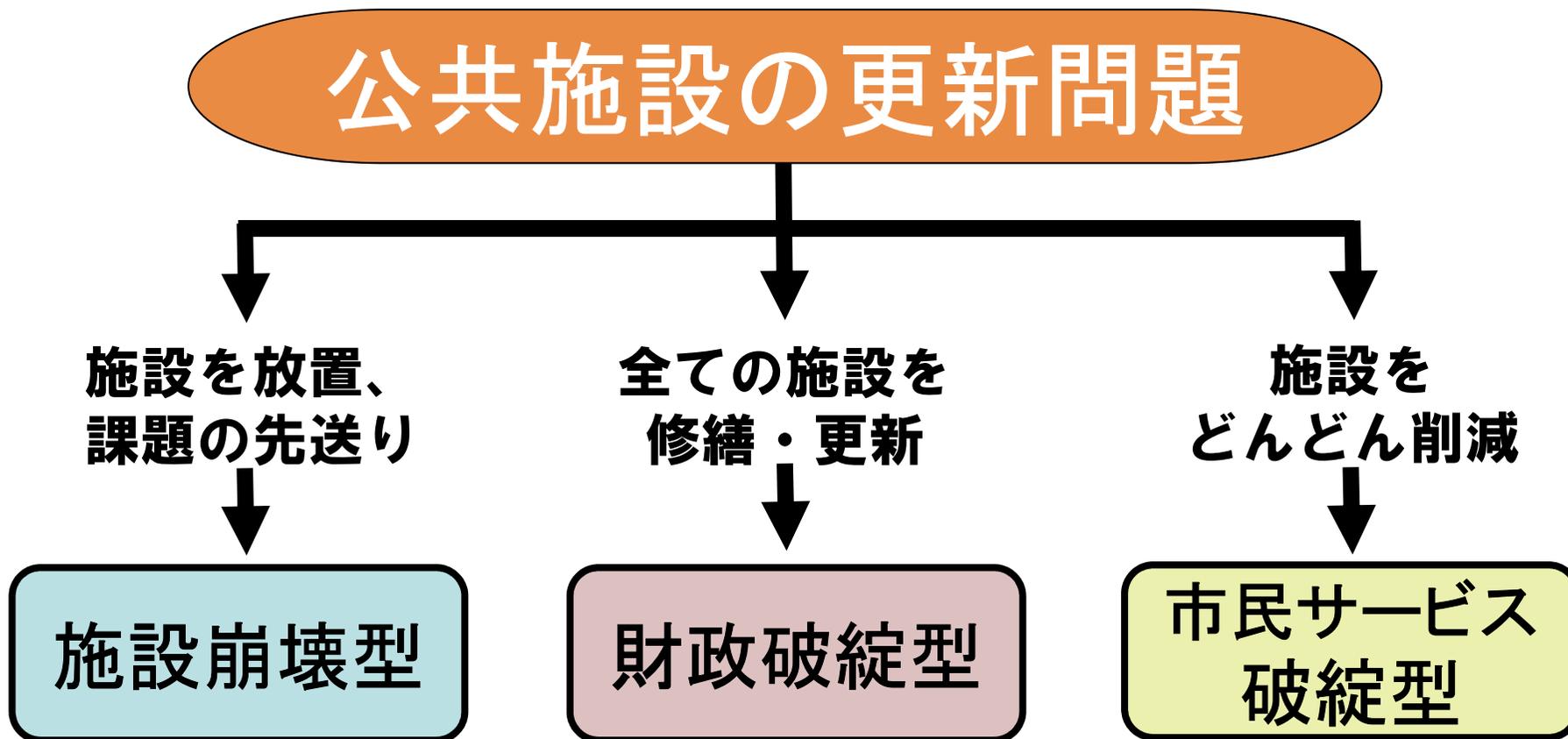


目標耐用年数
80年
80年
50年

5 修繕・更新等費用の比較



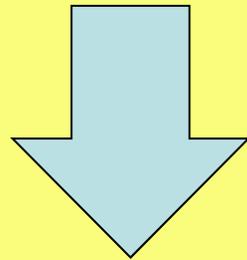
8. 将来の公共施設のあり方



- 1 必要な機能(市民サービス)を確保し市民の暮らしを守る。
- 2 次世代に負担を先送りしない。

9. これからの取組み

「(仮称)地域デザイン懇談会」を設置予定

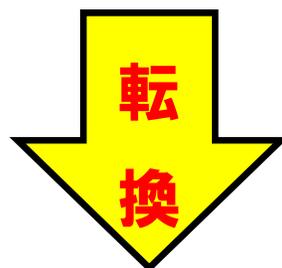


**旧市町単位を基本に設置し、地域に必要な
施設・機能を市民の方々と一緒に協議・検討
することを想定**

- ◎ 公共施設は、サービスを提供する手段
- × 施設維持そのものが目的化していないか。

～次世代に負担を先送りしないために～

「あったほうがいい」



「本当に必要なもの（機能）を賢く使う」

10. 関係資料をご覧ください

資料名	公表時期
市民アンケート結果報告書	2015年9月
公共施設再編計画・公共施設等総合管理計画	2016年11月

設置場所：公共施設マネジメント推進室（本庁舎3階）、各振興局、図書館（各分館を含む）

※市のホームページでも公表しています。



公共施設マネジメント

※市ホームページには、公共施設の施設基本情報（名称、所在地、延床面積等）、財務情報（歳出、歳入等）、供給情報（利用状況等）等に関する情報をまとめた「施設カルテ」も公表しています。